

会 議 録

1 会議名

第1回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○ 自己紹介（公開）

○ 協議事項（公開）

(1) 会長及び副会長の選任

(2) 地域協議会の運営について

・ 席順

・ 会議録の確認方法

・ 地域協議会の開始時間等

・ 地域協議会の運営方針

(3) 地域協議会だよりの発行及び編集について

○ 報告（公開）

(1) 農業経営基盤強化の促進に関する「地域計画」の策定について

○ その他（公開）

3 開催日時

令和6年5月31日（金）午後7時から午後9時30分まで

4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民活動室4・5

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：市村一雄、市村千映、小野正広、金子正徳、北澤誠、北澤正彦 五井野利一、
杉田和久、竹内登美子、西山正成、松野裕太、水澤幸博

・ 事務局：浦川原区総合事務所 坂井所長、岩野次長、保倉次長、大島建設グループ長、唐
澤市民生活・福祉グループ長、西山教育・文化グループ長、村松地域振興班長、
中島農政班長、春谷主任、原田主事

8 発言の内容

【岩野次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 出席者は12人
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告
- ・ 地域協議委員、総合事務所職員が自己紹介（廣田産業グループ長は都合により欠席）

【岩野次長】

続いて、協議に移る。会議の進行は、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項ただし書きにより「会長及び副会長が選任されていない場合で市長が必要と認めるときは、市長が招集し、市長が指名する者が議長となる」とあるため、引き続き私が議長を務める。

「協議（1）会長、副会長の選任」について、上越市地域自治区の設置条例に関する条例第6条に「地域協議会の会長及び副会長は、それぞれの地域協議会の会議において、委員のうちから選任する」とあるため、委員の皆様で協議いただきたいと考える。

また、副会長については、第1期、第2期は1人、第3期から第5期は2人としていたが、人数についても協議いただきたい。

はじめに会長の選任について、自薦・他薦問わず、委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴したい。いかがか。

【小野委員】

前期務めた中で、2年前から地域協議会の内容が変わった。今までは地域活動支援事業の審議、採択がメインでそれに向けて動いていた。それにより自主的審議事項を進める時間が割かれることとなった。そのようなことから、前期委員の意見を引き継いでほしいと考え、個人的に会長には、前期の委員から選出されることが望ましいと考える。

その中で北澤正彦委員は、中学生との意見交換会や地域の宝発掘にも精力的に動いてもらった。

また、自主的審議の協議にも意見を多く出し、まとめていただいた。そのような経緯もあることから、北澤正彦委員を会長に推薦する。

【岩野次長】

小野委員から前期委員の中からのという視点で、北澤正彦委員を会長に推薦するという意見があったが、ほかに意見はあるか。

【市村一雄委員】

1期休んだということで、前期委員の気持ちや活動内容がわからない。反対するわけではないが、事務局から見て、この委員が適任ではないかという意見があれば聞きたい。

【岩野次長】

事務局からの意見は特段ない。これから、第6期の委員の皆様が地域協議会を運営していくので12人の皆さんで決めてもらうのが良いというのが事務局の意見である。

【杉田委員】

ほかの意見ではないが、ご指名があった北澤正彦委員によろしくお願ひしたい。

【五井野委員】

副会長の人数だが、私の知る限り2人で行って上手くまわってきた。正副会長会議では、3人の方が意見はまとまるし、意見が分かれたときにも3人のほうが良い。

会長については、小野委員、杉田委員が言われたとおり、北澤正彦委員が良いと思う。意見も熱心に発せられるし、反対意見にも耳を傾け感情的にならずに発言されるので、会長に相応しいと思う。副会長については、会長になられた委員から推薦してもらい、承認してもらえばよいと思う。

【岩野次長】

五井野委員より、副会長の人数の話があったが、まずは、会長について決めたいと思う。そのほかに会長の推薦について意見はあるか。

(会場内から意見なし)

ほかに意見がないようなので、北澤正彦委員を会長に決定してよろしいか。

(会場から拍手多数)

それでは、北澤正彦委員から会長に就任していただくこととする。

続いて、副会長の選任に入るが、先ほど五井野委員より副会長は会長の意見を聞くべきであった。まずは、会長の考えを聞かせていただきたい。

【北澤会長】

これから地域協議会を運営していくにあたって、まず副会長について1人は水澤委員にお願いできないかと考えている。いろいろなコミュニティで水澤委員の活動を見てきた中で、いつも精力的に動いており、また、話も通していただける人である。まだまだ私も若輩者なので、勉強させていただくということも含めて、お力添えをいただきたいと考えている。

もう1人は、小野委員にお願いしたいと思っている。前期の地域協議会の中でもストレートに意見を言っていただき、嫌みもなく皆さんに受け入れてもらえる素敵な性格である。その2点から副会長をお願いしたい。

【岩野次長】

会長から意見をいただいた。ほかに意見はないか。

【水澤委員】

今ほど会長からの指名があったが、これからは若い人をお願いしたい。副会長が2人ということであれば、もう1人の副会長は女性をお願いしたい。女性活躍社会でもあるし、私は一委員としてサポートをしていきたいと思っている。委員を引き受ける際にもそういう思いがあった。今期は世代交代してほしい。

肩書は別にして12人一丸となってやることだと思っている。そういう人材を作ることがこの変革期にとって大切なことと考える。今まで8年間見させてもらったが、それぞれ思いがあって委員になっていると思っているので、若い人に勉強も兼ねながらやってもらいたい。その中で1人は女性が望ましいと思うので、もう一度考えていただきたい。

次のリーダーを、また、その次のリーダーを育ててもらいたいという思いがある。私の意を組んでいただきたい。

【市村一雄委員】

女性というのは今2人しかいないが、この2人が引き受けてくれるのであればとてもありがたい。大変だと思うがその意見は尊重したい。

【岩野次長】

女性という話がでたが、女性2人の意見を聞かせてほしい。

【市村千映委員】

女性2人しかいない中で、2人とも初めてということもある。初めての会議で圧倒されながら聞いている。本当は水澤委員をお願いしたいが、水澤委員の意見も聞いて若い人というのはいいと思う。女性2人は勘弁してもらって、ぜひ若い人からお願いできないか。

【水澤委員】

そうは言うが、時代背景もある。副会長に就いたからといってそれだけの負荷を負ってもらうことはない。12人がワンチームでやることであって肩書はこだわらず、次のリーダーを育てることが組織として大切だと思っている。できれば1人は女性で、もう1人は五井野委員が良いと思う。五井野委員は浦川原区の顔で全国でも頑張っている。また、浦川原中学校閉校記念事業実行委員会でも彼の働きぶりを見ている。五井野委員と市村千映委員が良いと思うが、会長いかがか。

【岩野次長】

いろいろな意見がでたが、こうなるとすぐには決まらない。委員一人一人の意見を聞かせていただきたい。また、副会長の人数もまだ決まっていない。まず副会長の人数を決めたい。

挙手をお願いする。

(副会長 2 人に挙手多数)

挙手多数で副会長は 2 人に決定する。

副会長人選について、松野委員から意見を願います。

【松野委員】

若い世代や女性の話があったが、可能であれば 2 年目などで変わってもらえることはできないか。初めての人は運営や進行等がわからない。みんなでやるにしても負い目を感じる。1 年間運営をみて、やらせてもらうことが初めての人はやりやすいと思っている。

【西山委員】

個人的には、2 期目であり指名を会長から受けた小野委員にやってもらいたい。もう 1 人は女性委員にお願いしたい。

【竹内委員】

2 期目の委員にやってもらう方が良いと思うが、女性委員となると、市村千映委員と私しかいない。市村千映委員とは個人的にずっと一緒に活動してきた、どちらかがやるとなると大きな溝ができてしまう気もするが、私か市村千映委員であれば、市村千映委員が相応しいと思っている。私は仕事もあり、ご迷惑をかけることもあると思うので、女性ということであれば市村千映委員にお願いしたい。

【杉田委員】

市村千映委員と小野委員からお願いしたい。

【五井野委員】

最初に申し上げたとおり、副会長は会長の両腕となる人なので、会長が指名した人が良いと思う。

【北澤誠委員】

確か前々期も副会長は女性だったと記憶している。その時の会議も上手くまわっていたので、副会長 1 人は女性が良いと思う。

【金子委員】

副会長は 2 人で、1 人は女性ということで初めてで荷が重いと思うが、全員でサポートしていきたいと思っている。

【水澤委員】

訂正させてほしい。女性委員を最優先で考えるのであれば、もう 1 人は五井野委員が良いという意見である。

【小野委員】

前期務めた経験はあるが、私は3交代勤務の仕事をしており、地域協議会に参加している中で、日程の調整も苦勞しており、副会長を務めるには不安がある。1人は女性という意見は良いと思う。次期リーダーという考えを踏まえ、五井野委員が適任だと考える。私が副会長は1人と考えていた理由は、今までの経験から日程調整で苦勞してきた。会長と副会長が1人だと意見が割れたときに時間がかかるという話があったが、それは会長の一声で決まる問題だと思う。多数決で2人決めなければならないということで北澤会長から指名していただいたが、できれば五井野委員にお願いしたい。

【市村千映委員】

率直な意見として、会長から指名を受けた小野委員と、若手の五井野委員にお願いしたい。

【市村一雄委員】

今、話を聞いた中で、2年で副会長が代わったことを思い出した。それが可能であれば、女性の2人でぜひお願いしたいのと、1つ申し上げたいのは、地域協議会でこんなに話が出来るとは思わなかった。以前はここまで話が出来なかったので、それが驚きであることを申し上げたい。

【水澤委員】

先ほど、副会長2人体制で1人は女性という話をさせてもらった。小野委員は仕事上の話をされたが、2人体制であれば調整がつかないときはそれに対応できる。ただ最終的に会長の判断とういことについては意義を唱えたい。過去の地域協議会を見ていて会長に権限を与えると、独裁制になる危険もある。

女性については2年交代という意見もあったが、それも1つの選択肢として1人は市村千映委員にお願いしたいと思う。色々な話もでたがそれを踏まえた上で、会長に判断していただきたい。

【岩野次長】

委員の意見を聞いた中で、会長としての考えをお聞かせ願いたい。

【北澤会長】

副会長は2人というのは決定事項ということで、1人は先ほどもお願いしたが、小野委員にお願いしたい。もう1人は市村千映委員にお願いしたい。

【岩野次長】

会長から、副会長は小野委員、市村千映委員にとお願いがあった。ほかの委員からも2人の名前が挙がっていた。ここで、副会長の選任についての承認をとりたいと思う。

第6期浦川原区地域協議会委員の副会長は小野委員、市村千映委員でよいか。挙手をお願いする。

(挙手多数)

挙手多数により、副会長に小野委員、市村千映委員の就任に決定する。会長、副会長に就任の挨拶をお願いしたい。

【北澤会長】

未熟ではあるが、会長を務めさせていただく。先ほどの水澤委員の話の中でもあったが、会長副会長に意見が集約するような考えは一切持っていない。私も4年前に初めて地域協議会に出席した際に発言ができなかった。意見を言える会議ではなかったと4年前のことを思い出す。その中で自分の気持ちを伝えたいという思いで頑張ってきた。今回、私を含めて12人の力強い皆様と地域協議会を運営できることはとてもありがたい。皆様の意見を聞きながら、浦川原区のために努力をしていきたいと思っているのでよろしくをお願いしたい。

【小野委員】

引き受けたからには、一生懸命頑張りたい。皆様からも意見をぶつけてもらいたい。そうでないと会議は成り立たない。会長を支える立場として頑張るのでよろしくをお願いしたい。

【市村千映委員】

1年目で足を引っ張るかもしれないが、微力ながら女性ということで頑張りたいと思うのでよろしくをお願いしたい。

【岩野次長】

これより、会議の進行を会長、副会長にお願いする。会長、副会長と打ち合わせるを行うため、10分間の休憩とさせていただく。再開は午後8時10分とする。

(休憩後会議再開)

【岩野次長】

それでは会議を再開する。ここからの会議の進行については、地域自治区の設置に関する条例第8条の規定により、会長から議長を務めていただく。

【北澤会長】

それでは協議を進める。「協議事項(2)地域協議会の運営について」を議題とする。

①「席順」については、資料1のとおり、今の席順とすることでいかがか。

【市村一雄委員】

いつも同じ席だとほかの人が見えないので、毎回席を変えてほしいが可能であるか。

【岩野次長】

地域協議会の総意であれば可能である。

【北澤会長】

ほかに意見はあるか。

【水澤委員】

今のままでよい。

【北澤誠委員】

あくまで席順は固定してほしい。

【北澤会長】

席を固定するか、否かを決定するために挙手をとる。その前に1つ申し上げるとすれば、欠席者が出た場合、1つずつ前に動くことになる。その場合は従来通りの形でよろしいか。

【市村一雄委員】

そんなに深く考えなくて良い。いつも同じ席だとどうかと思っただけなので皆さんの意見を聞いてお任せしたい。

【北澤会長】

採決に移る。

(席は変えないという意見が多数で決定)

次に②「会議録の確認方法」についてを議題とする。

会議録の確認は、上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項に基づき、会議の内容は地域協議会が指定した者の確認が必要であり、これまで会議の冒頭に、会議録の確認者を地域協議会に出席している委員から1名選出し、会議終了後、事務局が作成した会議録を地域協議会で選出した委員へ送付し、確認してきたが、今回もこの方法で行うこととすることでいかがか。

(会場から「はい。」の声多数)

順番については今の席順で、市村一雄委員からでよろしいか。

【市村一雄委員】

はい。

【北澤会長】

次に③「地域協議会の開始時間等」について議題とする。

会議開始時間や曜日、何週目の開催がよいなどの意見があればお願いしたい。

【市村一雄委員】

開始時間に関しては午後6時30分でお願いしたい。元職の女性の委員から意見があったが、家の事などもあり、午後9時を過ぎたときに大変な思いをしたという話があった。開始時間は午後6時30分として、午後9時を過ぎたときに事情がある人は帰っても良いなど、了解を取りたいが、皆さんの意見はいかがか。

【水澤委員】

家庭的なこともあって大変なことも分かるが、途中退席というのは、地域協議会委員の責任を果たしていない。そこは覚悟して出ていただきたいし、今回の開始時間についても勤めのある人もいるから午後7時になっている。途中退席はあってはならないと思う。

【松野委員】

午後6時30分開始でお願いしたい。ただし、市村一雄委員が言われたように、午後9時以降まで会議が行われるとすると家庭のことも考え、途中退席はありがたいと思う反面、水澤委員が言われたことも分かる。であれば6時30分スタートで進めていただくのが良い。

【水澤委員】

地域協議会の開催時間を2時間程度の基準的なものに設定すれば良いのではないかと。案件が多いときは、別の日に行えば良いと思う。

【北澤会長】

基本的に午後9時を過ぎるという会議はなかったように思われる。途中退席についても私が知る限り、私が一度途中退席をした。大切な協議事項があった会議のため、皆さんの許可をいただき退席をした。それ以外は前期4年間で途中退席はなかった。時間については、午後6時30分で問題がないように思われるので、午後6時30分で決定する。日程については、どのように決めるのか協議してほしい。

【北澤誠委員】

会議の予定が分かればよいが、月末以降の開催が多い。総合事務所の資料の準備を考えると、適宜、日にちを決める方が良いのではないかと。思う。

【市村一雄委員】

介護職などは1か月前から休みのスケジュールが決まっている。そうであれば毎週の何曜日というように曜日をある程度決めた方が良いのではないかと。

【松野委員】

私も介護の仕事をしており、すでに6月のシフトも出ている。次回の会議については何とか予定をつけたいと思っているが、個人的には、市村一雄委員が言われた毎週の何曜日と決まっている方がありがたい。

【北澤会長】

3人からの意見をいただいたが、事務局の都合はどうか。

【岩野次長】

事務局は日程のしぼりはない。今までは月末を中心に行ってきたが、地域協議会として、月の上旬、中旬が良いというのであれば、そこに合わせて資料や様々な案件を提示させてい

ただく。

【水澤委員】

今回の開催については、この会議で決める方が良いと思う。固定となるとほかの予定とのバッティングも考えられるので、以前のように会議時に次の開催日を決める方が良い。

【北澤会長】

おおまかなスケジュールの日程を決めるほうが良いと思うが、皆さんいかがか。

【市村一雄委員】

せめて週単位で決められれば良い。私は自営業で日程調整しやすいので、夜勤をしているなど、日程を合わせ難い人の意見を聞くのが良いと思う。

【杉田委員】

松野委員に質問したいが、シフトは変えられるものなのか。

【松野委員】

命を預かっているので変えられない。

【杉田委員】

であれば毎週何曜日という決め方は、有効ではないのではないかと。

【小野副会長】

シフトの話も出たが、前期では会議の中で次の日程を決めてきた。その中で出席できない場合も当然あるが、できるだけ都合を合わせるようにしてきた。私の考えとしては、この会議の中で日程を決め、極力出席できるようにすることが良いのではないかと考える。

【北澤会長】

曜日を決めるのは難しそうなので、当面の間は、会議の最後に決める方向で進めていこうと思うがいかがか。

(会場内から、「はい。」の声多数)

次に④「地域協議会の運営方針(案)」についてを議題とする。事務局から説明をお願いする。

【岩野次長】

(資料2に沿って説明)

【北澤会長】

会議の開催要件の1つである「地域協議会が定める数以上の委員の皆さんから請求があった場合」について、「地域協議会が定める数」は、前回の地域協議会は3人であったが、3人でよいか。

(会場から「はい」の声多数)

それでは3人とする。

自主的審議において、地域協議会委員個人が提案する場合は、「提案書」に記載し、地域協議会開催の1週間前までに事務局へ提出することでよいか。

(会場から「はい」の声多数)

次に(3)「地域協議会だよりの発行及び編集について」を議題とする。事務局より説明

をお願いします。

【岩野次長】

(資料3-1に沿って説明)

【北澤会長】

では、地域協議会だよりの発行回数及び班の構成について、どのようにしたら良いか協議をお願いします。

【水澤委員】

過去の経験からして、回数は3回くらいが妥当ではないか。メンバー構成については、今回初めてということもあるため、事務局で考えていただきたい。

【西山委員】

第5期を見ると3回か2回だった。3回の回数で伝えきれなかったということはなかったのか。

【五井野委員】

伝えきれないことは全くなく、逆に回数を決めてしまうと、どうしても発行しなくてはならないという観点にとらわれて、出さなくてもよい号が存在する。今までは地域活動支援事業の採択結果や進捗状況が中間にあり、3月ごろでは、年度における地域活動支援事業の締めくくりや翌年の説明があった。そこで2回確保できる。年度初めには必ず知らせるものがあり、3回発行というのが常だったが、それから局面が変わったので、伝えるものがあれば何回でも良いと思う。平等というのは違う話だと思う。西山委員が言われたように、年によって回数が変わってくる。3回にとられると伝えたいものがないときに困る。4回出したいときはどうするのか。発行回数を3回に決めたから平等に4人編成とするのではなく、また回数を決めるのでもなく、一班の人数を決め、順を追って回っていく方が良いと思う。そうでないと、議題が少ない10月や11月を毎年担当する人が一番大変であると感じる。

【北澤会長】

五井野委員の発言を受けて、ほかに意見はないか。

【杉田委員】

回数は今まで通り3回が良いと思うし、3回で伝えきれなかったことは今までもなかったように感じる。ただ、逆に3回が多くなるのではないかということについては、今後の私達の活動にかかっているし、前期委員から引き継いだ申し送り事項もある。申し送り事項の取扱いについての中間報告や、今後研修もあるので材料がないことはない。回数を3回に決めて進めていくのがよいのではないか。

【水澤委員】

補足させていただきたい。私が3回といったのはあくまで基本の回数である。住民に伝えなければならないことがある時には、回数が変わることもある。その時には別途、考えるのが望ましい。班の人数については4人なら4人とし、1回増えたり、減ったりすれば担当する月も変わってくる。なにより伝えることが大切であると考えている。

【北澤会長】

事務局へ確認したい。3回を基本とした場合、回数が4回、5回に増えたときに地域協議会として対応は可能なのか。発行回数について制限はないのか。

【岩野次長】

回数について定めはないが、発行するにも費用が発生するのでその予算の部分で回数が決まっている。発行の必要がある場合においては、事務局の裁量において対応できる。言葉が足らなかった部分があったが、委員の皆様から最低でも1回は編集作業に携わっていただきたいということで説明した。よって人数については5人でも6人でもよく、皆さん全員で地域協議会だよりの運営をしていただきたいということである。そのあたりも含め協議していただきたい。

【北澤会長】

年間3回を基本とし、人数は4人体制でいかがか。

【市村一雄委員】

3回が基本ということであれば、3人で1班とした方が良い。4人体制だと毎回同じ月に当たる可能性がある。3人の4班体制であれば、毎年違う月に担当できると思うが。

【北澤会長】

年度が替わった時に、地域協議会だよりについて皆さんに意見を聞く機会がある。今年は4人体制で皆さん1回ずつ担当していただくとして、来年度に改めて皆さんと協議したうえで担当する月を決めるというのが私の考えである。

【市村一雄委員】

そういうことであれば良いと思う。常に固定すると同じ月になると思い発言した。

【北澤会長】

年3回、4人体制を基本とし、1回は編集活動に携わっていただくこととする。

事務局に聞きたいが、先ほど7月に1回目の発行があると話があった。1回目については今この場でメンバーを決めた方が良いのか。

【岩野次長】

できればそうしてほしいが今回初めての委員もいる。その辺りを考慮して決めてほしい。

【北澤会長】

この会議で決められたら良いと思うが、皆様いかがか。

(会場から意見なし)

【岩野次長】

時間も遅いので、事務局で班編成をし、後日連絡するという形で進めたいが、確認をとっていただけか。

【北澤会長】

今年度3回の班編成について、事務局で決めてよいか。

(会場から「はい」の声多数)

次に、4. 報告事項に移る。(1) 農業経営基盤強化の促進に関する「地域計画」の策定について、総合事務所から説明をお願いする。

【中島班長】

(資料4により説明)

【北澤会長】

今の説明に、質問や意見はあるか。

(会場から「ない」の声)

【北澤会長】

1点確認したい。地域懇談会について、旧小学校区というのは、中保倉地区、下保倉地区、月影地区、末広地区で間違いないか。

【中島班長】

間違いない。

【北澤会長】

日程については決まっているか。

【中島班長】

中保倉地区が6月10日(月)、下保倉地区が6月11日(火)、月影地区が6月13日(木)、末広地区が6月18日(火)である。時間は午後7時15分から行う。

【北澤会長】

ほかに質問等なければ、農業経営基盤強化の促進に関する「地域計画」の策定についての報告を終了する。担当職員1人はこれで退席する。

次に5. その他に移る。事務局から説明をお願いする。

【岩野次長】

((1)～(9)まで一括で説明)

【北澤会長】

今ほどの説明に、質問や意見はあるか

【北澤(誠)委員】

(8)の地域協議会委員の連絡先の配布について、連絡先の配布は委員の間だけか。

【岩野次長】

委員の間だけである。ただし、事務局は皆さんの連絡先は知っているの、ここにいる委

員と事務局で、情報共有をするためのものである。

【北澤会長】

地域協議会委員同士の連絡先の配布について、個人情報もあるので承いただけない委員はいるか。私は必要なものだと考えるがいかがか。

【水澤委員】

組織において個人情報等の問題はありますが、このメンバー内の連絡ということである。ほかの人には漏らさないということを前提とし、チームワーク向上のためにも、配布すべきと考える。

【北澤会長】

地域協議会委員同士の連絡先の配布について、作成して配布してよいか。

(会場内から「はい」の声多数)

【市村一雄委員】

先日の第6期地域協議会委員任命書交付式の時にもあったが、万が一の時に職員の連絡先が必要になるときもある。事務局の職員についても誰か1人でも良いので、連絡先を共有できるものか確認させてほしい。

【岩野次長】

事務局については、連絡先をオープンにしても問題ない。ただ、窓口については担当である村松班長にお願いしたい。

【北澤会長】

地域協議会委員の連絡先と事務局の連絡先を一覧にして配布するという事でよろしいか。

(会場内から「はい」の声多数)

それでは、次回の地域協議会の日程について協議する。6月の開催ということで何か意見はあるか。

【水澤委員】

6月26日(水)にほかの会議が入っているので、その日であれば欠席となる。

【北澤会長】

6月に関しては月末に行うこととして、6月24日(月)、25日(火)の日程で皆さん調整は可能か。

挙手をお願いします。(25日(火)に決定)

第2回浦川原区地域協議会の開催日は、6月25日(火)午後6時30分から開催すること

でよろしいか。

(会場内から「はい」の声多数)

閉会の前に事務局から連絡事項はあるか。

【村松班長】

当日配布のチラシ、第6期地域協議会委員任命書交付式の費用弁償、A4ファイルの配布について連絡。

【北澤会長】

以上で第1回地域協議会を閉会する。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別途の会議資料もあわせてご覧ください。